



令和6年2月15日

「令和5年度 物流業界研究セミナー」を開催

～445名の学生が参加し、物流業界への理解を深めました～

(一社)日本物流団体連合会(真貝康一会長)では、主に就職活動を控える学生を対象に、各社が会社概要や事業内容の説明を行い、物流業の社会的重要性や先進性について幅広く業界の理解を深め、物流業の業界研究をすることができる機会を提供することを目的として、平成27年1月(2015年1月)より毎年「物流業界研究セミナー」を開催しています。

今年度の「物流業界研究セミナー」は、オンライン開催を2回、対面開催を大阪と東京で実施しました。

オンラインの「第4回物流業界研究Webセミナー」は、1回目は12月9日に会員企業30社1団体と共同で開催し、学生131名が参加。2回目は1月12日に会員企業35社と共同で開催し、学生160名が参加しました。

対面開催では、1月27日にハービスHALLにて「第6回物流業界研究セミナー大阪」を24社と開催し、学生42名が参加しました。2月10日には東京都立産業貿易センター浜松町館において「第10回物流業界研究セミナー東京」を30社と開催し、112名が参加いたしました。

なお合計では、出展企業は38社1団体、参加学生数は445名となりました。

大阪・東京対面開催では、学生が各企業のブースを自由に訪問しながら、各社の会社概要や事業内容の説明受け、陸・海・空・倉庫・フォワーダー等、多業種で構成される物流企業の役割や使命等、様々な情報を収集していました。講演会場では、山田事務局長による『物流業界の現状と未来求める人材像』と題した講演会や、学生との直接対話方式を取り入れたタウンホールミーティングを実施し、熱心にメモを取りながら参加する学生の姿が見られました。会員企業の若手社員で構成された「物流いいところみつけ隊」のメンバーによるパネルディスカッションでは、物流業界を目指した志望動機や仕事のやりがい、経験談が披露され、生の声を学生に伝える機会となりました。また、若手社員による「就活相談コーナー」にも多くの学生が訪れ、最終のクールまで会場に残る学生も多く、参加学生の積極的な姿勢が見られました。

Web開催では、長谷川理事長の開会挨拶に続き、山田事務局長により当日参加する各社の特徴等を含めた講演会を行いました。その後、会員企業による説明を全9クールの中で毎回5～8社が別回線にて実施し、学生は自由に企業ルームへ入室し様々な情報を収集していました。また特別プログラムとして「物流いいところみつけ隊」によるパネルディスカッションや物流業界&就職活動質問コーナーでは、就活に関する悩みや疑問に対して積極的に質問をしている学生の姿がありました。

当連合会では引き続き、「物流を等身大で見てください」取り組みを行い、物流業界で活躍する人材の獲得・育成を目指して、さまざまな活動を進めてまいります。



長谷川理事長 開会の挨拶



山田事務局長 講演会



セミナー会場風景



セミナー会場風景



みつけ隊によるパネルディスカッション



なんでも相談コーナー